

今年度第 1 回目の学校運営協議会を開きました！

6月5日（金）に学校運営協議会を開きました。今回は、ちょっと詳しくに学校運営協議会についてお伝えします。

学校運営協議会は法律で定められているので各学校で開かれています。学校運営協議会が設置された学校をコミュニティ・スクールとも呼びます。学校単独で開いたり、中学校区合同で開いたりします。本校は坂本中と合同で開きます。大きな目的は「学校と地域が力を合わせて学校をつくっていきましょう」ということです。だから、協議会のメンバーは地域の方に担っていただきます。坂本支所、住民自治協議会、保育園、地域学校協働活動推進員、主任児童委員、民生委員、校区福祉会、生活研究グループあかつき会、読み聞かせグループ、小中学校のPTAの方々です。何を協議するかというと、第1回目には、メンバーの方々に理解していただけるように、学校の目標や取組を説明しました。そして3つの部会に分かれて今年度の取組について確認しました。第2回目には学校や各部会の途中経過を報告し、最後の第3回目には学校や各部会の振り返りという感じです。3つの部会の紹介をします。「学習・体験」部会では、読み聞かせ、職場体験（中学校）、郷土料理教室などを話し合います。「環境・健康」部会では、運動場などの環境整備、運動会、生活習慣の確立などを話し合います。「防災・安全」部会では、交通教室、防災教育などについて話し合います。それぞれの立場で「できること」を考えていきます。



「地域とともにある学校」という言葉があります。本校も子供達のために地域の方々と力を合わせながら歩んでいきたいと思っています。

交通教室を行いました！

6月15日（月）に交通教室を行いました。命を大切にするための学習なので毎年行っています。1～3年生と5・6年生に分かれて行いました。1～3年生は、歩行や横断の仕方やバスの乗降について学習しました。バスの運転手からは子供達が見えない場所があること、車には内輪差があることなどを学びました。5・6年生は、自転車の乗り方について学習しました。自転車は車両扱いとなり被害者にも加害者にもなること、横断歩道や歩道などで自転車から降りて押して歩くと歩行者扱いになることなどを学びました。実際に八代で事故があった場面の再現もありました。片側2車線の横断歩道で、手前の車線の車が止まったので横断していたら、もう1車線の車が止まらずに子供がはねられたそうです。

ルールを守っていても事故にあうことがあります。自分の命も人の命も守っていかねばなりません。大切な人の命が奪われないように「安全な行動とは？」「危険はどこに迫っているのか」を常に考え、行動していかなければならないと思いました。



「生活研究グループ鮎帰会」からご寄付をいただきました。PTA 会費の収入とし、大切に使用させていただきます。ありがとうございました！

熱中症対策の塩分摂取について！

昨年度もお伝えした内容です。

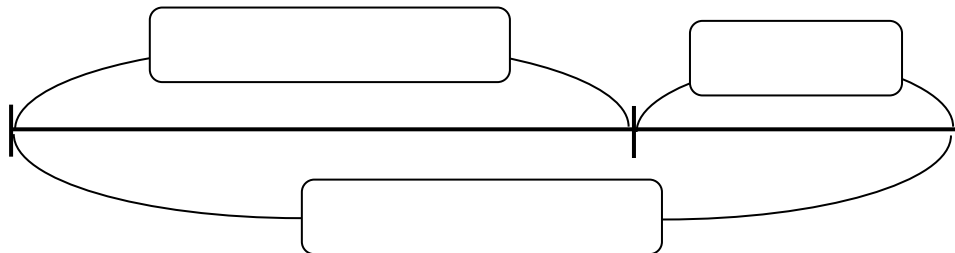
熱中症が心配される時期になりました。早寝をして十分に睡眠の時間を取り、炎天下の活動を避け、こまめに水分をとることが大切になってきます。塩分摂取も熱中症予防の1つとなりますので、朝食での味噌汁や梅干しなどで塩分をとることが有効とされています。朝食での塩分摂取で不足を感じ、熱中症を心配されるご家庭は、次のとおり塩分を持参させてください。くれぐれも塩分の過剰摂取にはご注意ください。

- 塩分を学校に持参することを連絡帳などで担任に伝えてください。
- 持参させる塩分は、食塩もしくはタブレット状のものにしてください。あめ状のものは窒息のおそれがありますのでご遠慮ください。
- 持参した塩分は、各自責任を持って保管するようにご指導ください。
- 休み時間など、授業以外で塩分を摂取するようにご指導ください。
- ゴミなどが出る場合は、持ち帰るようにご指導ください。

何から何を引くのかな!?

2年生の算数です。問題は「子どもがあつまっていました。9人来たので、30人になりました。はじめは何人いましたか」です。下のような図で考えます。「はじめの数」「来た9人」「全部で30人」の言葉がどこに入るのか、それぞれ考えました。（どこにどの言葉が入るかは、子供達に分かるはずです!）それぞれの考えを黒板に書いて、発表することができました。

この問題の式は $30 - 9$ になります。算数では、式だけではなく図と関連させて考えることが大切です。具体的なイメージを持って、式に表していく力を付けていきたいと思います。



校長室から(ちょっとスペースが空いたので・・・)

給食が終わると、必ず「体育館の鍵を借りに来ました・・・」と職員室にだれかが来ます。体育館でドッチビーをして遊ぶからです。強制ではありませんが、だいたいみんなで遊ぶことが多いようです。私も小学生の時は、サッカーや手打ち野球など体を動かして友達と遊ぶことを選んでいました。私が担任をしていた時も、運動場で汗をだらだら流して元気に友達と遊ぶ子供達がたくさんいました。学校以外の遊びは、デジタルの世界へと移り変わっていますが、学校は良い意味で友達と一緒にする遊びが残っていると感じます。体力を付けるには体を動かす遊びが一番だと思っています。その意味では、本校の昼休みはハナマルです。また、人間関係を学ぶ場でもあると思います。本校は異学年と遊ぶので、みんなが楽しむためには、チーム分けなど考えなくてはなりません。「当たった!」「当たってない!」などのトラブルも発生します。そんな時は、それなりの落としどころを考えなくてはなりません。「みんなが楽しく遊ぶには・・・」を何となく考えながら友達と一緒に遊ぶ子供達は、学んでないようで、いつも学んでいるのだと思います。